

### ごあいさつ



議長 佐藤 正夫

新年度がスタートして早くも1か月がすぎ、私たちの任期も半年余りとなりました。

今年3年半を顧みますと、市民に開かれた議会を目指して様々な取り組みをして参りました。

議会改革検討委員会での検討を基に、一般質問では、より議論が深まるように一問一答方式とし、議員が品位を保ち不正な影響力を行使しないようにと倫理規程の制定、また、「市議会だより」においては各議員の一般質問の概要や賛否の分かれた議案の表決結果の掲載、各委員会での主な質疑等を掲載して広報の充実にも努めてまいりました。

しかしながら議員の本質を理解しない議員もあり、本会議や委員会、

普段の活動においても議会の信頼を損なう行為が見受けられ注意をしたところで。

議会の構成について年頭のあいさつでも申し上げましたが、飯山市の議員の高齢化が進んでいます。どうすれば若い人が出てこられるのか検討を進めています。最近、県内の他の自治体の議員選挙において無投票が2市、定数に満たない村もあり、危機感を持って進める必要があると感じています。何よりも若い皆さんの奮起を心より望んでいます。

選挙管理委員会により、当市においては市長と市議会議員の選挙が10月28日に同時に行うと決定されました。飯山市にとって初めてのことでありますので、滞りなく執行されることを願っています。

現議員の任期は12月11日までであります。市民の代弁者として市政のチェック機能を果たしながらも、執行機関と協力できることは協力して、ともに市政の推進に一層の努力をして参ります。

### 北信越市議会議長会定期総会

第93回北信越市議会議長会定期総会が4月26日富山県富山市で開催されました。北信越5県の各市の議長で組織されています。

会議には各県から議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。可決された議案の一部は、5月に行われます全国市議会議長会定期総会へ提出されます。

また、長年在職している議員への表彰においては、議員15年以上の佐藤正夫議長と、久保田幸治議員が表彰されました。



第93回北信越市議会議長会定期総会

今後も開かれた信頼される議会を目指し、皆様の負託に応え、市民一人ひとりが安全・安心して暮らせるまちづくりのため努力してまいりますので、ご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 議会を傍聴しませんか!!

平成30年6月定例会は左記の日程で開催予定です。市政を知る良い機会です。議会傍聴にお出かけください。議場は市役所5階です。傍聴席入口からお入りください。

### 平成30年6月定例会 会期日程(予定)

◆招集・議案上程	6月7日(木)
◆一般質問	6月15日(金)・18日(月)・19日(火)
◆予算決算常任委員会	6月20日(水)・21日(木)
◆総務文教常任委員会	6月21日(木)
◆産業民生常任委員会	//
◆委員長報告・採決	6月25日(月)

## 3月定例会 一般質問



3月7日～9日の3日間にわたり、13名の議員から一般質問が行われました。質問の一部を抜粋して掲載します。内容につきましては各議員において編集しております。

なお、掲載の順番は質問順です。

### 平成30年度市政方針について



小林喜美治議員

◆平成30年度一般会計予算について

問 施政方針では市民サービスに直結する施策推進を図るとしている。国の地方財政は抑制基調ではあるが一般財源では17年度をわずかに上回っており、切実な住民要求を実現する財源は不十分なながらも確保されている。こうした状況をどう捉え住民要望実現をすべきと思うが見解を伺う。

答 30年度からの基本計画、3か年の実施計画を組み、防災無線などの大型事業など長期的財政計画を見直す中で予算編成をした。重点政策を中心に福祉の向上の推進を図りたい。

問 福祉医療費給付事業について、20年来の運動が実り、今年から窓口無料化が実施されることとなり、長年の運動が実ったことについて素直に喜びたいと思う。精神障害者2・3級の医療費についてはどのようになったのか伺う。

答 所得確定後の8月から無料化となる。精神障害以外の通院医療費の半年分130万円を予算化している。

### 再生可能エネルギーの推進



高山恒夫議員

◆エネルギー政策

問 地球温暖化対策の考え方は。原発は現実的ではない。化石燃料は縮小せざるを得ない。地域資源を活用した再生可能エネルギーの割合を増やすこと。

答 山林のおかれている現状は、市内民有林のうち、間伐の適齢期にある木材は全体の7割、伐採期を迎えた木材比率が多くなっている。

問 発電所での地下水は揚水試験で判断すべきではないか。

答 周辺井戸への影響調査を見るためにも早急に調査を実施したい。

◆文化的景観の保存

問 建造物修繕に多額の地元負担は難しい。

答 護摩堂の修繕計画が具体的になった時点でふるさと納税等による資金調達も検討したい。

◆菜の花まつり

問 菜の花まつり実行委員会はどうあるべきか。

答 規模も大きくなり35回を数える。取組の経緯を含め、団体の皆さんのご意見を聞く中で検討が必要と考える。

### 飯山市農業振興について



西澤一彦議員

◆農業の展望、ビジョン

問 世界がグローバル化している今、飯山市農業も日本における飯山、世界における飯山といったスケールの大きな考え方が必要と考える。12月の一般質問した富倉出身の丸山邦雄氏もスケールが非常に大きかった。だからマッカーサーを動かして100万人を超える中国抑留者を救う大仕事が出来た。農業は、考え方の転換も必要と考えるが。

答 農業振興計画に沿ってしっかりと進めてゆきたい。

◆そばの栽培について

問 飯山市そば研究会が立ち上がった。そばの栽培に力を入れるべきと考えるが市長の考え方は。

答 そばが事業として成り立つよう行政も支援する。飯山はそば栽培の適地であり、二期作も可能である。

問 そば花まつりが開催され、菜の花まつりとともに市の2枚看板になる。遊休農地解消にも大きな力になる。

答 関係者とともに研究して行きたい。

木島地区にある樋門・樋管の管理について



市川久芳議員

◆千曲川・樽川の増水時の管理を業者に委託できないか

問 標記の管理は適時の操作が不可欠であり、又深夜増水した水辺に近づく危険。自宅が水没した被災住民に堤防決壊で流入した内水を排除するための適時の作業は無理がある。地元の用排水委員会と相談され、業者委託の方向で検討していただけないか。

答 先日木島用排水委員会から用排水路の維持管理体制を含めて一本化する方向で再構築を図りたいとの申し出があった。用排水委員会と相談しながら進めていきたいと考えている。

◆水没地域にある岳北消防本部の緊急移転マニュアルについて

問 12月議会で同じ質問をしたが、あれから本部に向向き署長さんと会って、計画段階に千曲川の水位等について確認した。その時、3月末を目どとして現在進めているとのことだが、出来上がったのか。

答 岳北広域行政組合の案件であるので答弁を差し控える。

木質バイオマス発電の地下水



飯田健一議員

問 地下水は誰のものであるかという質問ですが、近年、地下水は共有資源であるという考えができてきています。改めて市の見解をお聞きします。地下水は誰のものでしょうか。お答え願います。

答 地下水につきましては市が答弁すべきでないと考えております。

問 地下水は地下でみんなつながっていると言っても過言ではないということですが、これについてはどう思われますか。

答 地下水につきましては市が答弁すべきでないと考えております。

問 広井川等河川の水は地下水の代わりに使えないのですか。

答 企業側に聴取した際には、河川の水は水量や水質が一定ではないというようなことで、地下水を希望するということがありました。

問 市の上下水道は使えないのですか。

答 水量の規模から致しますと、不可能です。

保育園学校課題検討委員会中間報告の取り扱い



江沢岸生議員

問 1月25日の全員協議会で教育長から「これは検討中のものであつて、さらに統廃合問題決定委員会、教育委員会、総合教育委員会というプロセスがあり、なによりも地域住民の理解が大前提になるとの発言があつたが、確認したい。徹底的に理解を得るといふことだが、徹底的に聴くことをお願いしたい。

答 議員のいうとおり、まったく今も変わっていない。これからの経緯としては、定例教育委員会で検討し、さらに総合教育会議で検討し、それである程度市の方向性が出されるが、それが最終決定ではない。それ以前に、両保育園（あきは、しろやま）の保護者には、既に説明会が済んでいます。要望があれば私ほどこでも出かけて行って、車座で徹底的にご理解いただいようにしていきたい。いに進めていきたい。それで最終的な方向が示されたら、さらにその次に進んでいきたい。



克雪・利雪の推進について



渡川芳三議員

問 「優良オペレーター」のマイスター制度」とは何か。

答 この制度は熟練技能者から若手への技能の伝承を促す仕組みで、内容はこれから検討します。

問 豊田飯山インターから旧豊田村を通り斑尾のスキー場に通じる道路の除雪について。

答 斑尾区の皆さん、中野市、双方の除雪業者を交えしっかりと除雪体制を構築します。

問 雪捨て場は北部方面にもう1か所あつても良いのでは。

答 今年度から県の協力を得て暫定的に大深地籍の今井川の遊水池の泉管理地に雪捨て場を確保し、市でも利用しています。今後とも県と協力して確保に努めます。

問 地元業者は非常に大切。今後どのように育成を図るのか。

答 年間を通じた安定した公共事業の確保や除雪業務のみならず有事の際の対応を考慮の中で、検討して行きます。

◆土地利用について

問 市全体のコンパクトシティ化を考へるべきでは。

答 市全体のコンパクトシティ化も検討します。

移住定住促進住宅の整備について



竹井政志議員

問 新年度予算編成にあつて入居者との懇談をされたのか。またどのような整備か。

答 昨年10月に修繕等の要望を頂いた。新年度の整備は駐車場拡張工事、エアコン等の整備。

◆住宅屋根克雪化事業

問 今年の冬、雪下ろしや除雪作業中の事故により高齢者の尊い命が失われた。屋根の雪下ろしによる身体的負担と転落事故防止のための補助制度の利用状況と課題は。

答 利用状況は年々減少しているが高齢化により不安を感じている市民もいる。個々の状況に応じた相談体制が必要。

◆中学校部活動支援事業

問 中学校に部活動指導員を置く事業の背景と目的は。

答 部活動指導経験のない教員の精神的負担が重い。先生の長時間労働。このことが解消されれば本来の教材研究に向かうことができる。



ふるさと納税について



山崎一郎議員

問 飯山市の取り組みが評価されていて市財政は勿論、地域経済に大きく貢献しているが、この制度がスタートしてからの実績はどうか。

答 2月末までのトータルで約51億円になっている。

問 返礼品も地域経済に貢献しているがどんな現状か。

答 主とした返礼品は米とタブレットであるが、他の返礼品も40品目から80品目にし、寄付者の選択を広げたことで、今までに約27億円余地域経済に還元させている。

問 ふるさと納税の趣旨からすると、若者が故郷を離れる今の時節に、市の取り組みを伝えるべきと思うがどうか。

答 市の広報だけで直接していない。これから検討する。

問 転出届けを受け付ける市民課の窓口や成人式等において、飯山の取り組みをPRすべきを提案するが。

答 戸籍の窓口における転出者へのPRは効果が期待できると思われる。成人式とあわせ充分検討したい。

木質バイオマス発電所立地について



松本淳一議員

◆飯山市の基本姿勢

問 この立地について、飯山市は企業と市民の、どちらの側に立つのか。

答 市には、未利用の工業団地について、企業誘致を図る責務がある。企業から進出の希望があつた、市でも説明をしてきたが、企業でなければ分らないことは企業の方から説明をしてもらう。必要な調査を行い、地元の心配、課題について対応していく。一番は地下水。賦存量、排水、排気などが心配は推定、推測なので、実際の調査をしたうえで問題解決をはかつていく。推定では先に進めない。

問 田園地域で、この発電所は、その景観にふさわしいか。

答 景観については審査をするためのガイドラインで手続きが決められている。対象になつたものについては、まず担当部署でガイドラインに基づき判断を必要ならば審議会の中で審議する。決まつた手順の中で飯山市については景観保全をしていく。

「産業振興」は「地方創生」のかなめ



上松永林議員

◆日本版DMOになるか

問 DMOとはなにか。

答 観光で地域を振興することを目的に、地域の稼ぐ力を引出し、観光地経営の視点に立つた観光地づくりの司令塔の役割を担う法人。

問 観光庁への登録を目指す候補法人は157件あるが。

答 いややま観光局が候補法人に登録されている。

問 DMOとは、地域を磨き、売っていく作業。総ての産業にリンクするのが観光。観光局への市のサポートと連携は。

答 DMOの活動推進に対しては必要な支援をし連携していく。

◆民泊新法について

問 民泊新法は6月施行。県への意見具申の内容は。

答 戸狩民宿街の季節的な規制を申請した。

◆経済活性化・産業振興

問 産業振興は地方創生の要。税を免除する施策でなく、財政出動により企業業績が向上することで税収も増える。この様な施策をとるべきではないか。成功の実例が多くある。

答 現在ある市の助成施策を活用してほしい。

国民健康保険・介護保険、小・中学校給食費



渡辺美智子議員

問 健康保険税額一人当たりの保険税額9万8970円どう受け止めるか。

答 30年度の納付金が28年度より下回っており現行税率で納付可能。方針に沿って進める。

問 資産割の段階的引き下げ、解消を図りたいとある。どうするか。

答 10年をめどに3方式に。介護保険料平均58円アップの5758円に。県平均は。県平均は5598円。

問 千曲荘の建替えの予定地、今後の予定は。

答 旧三中跡地に2019年度建設着工予定、2018年度中に、校舎解体予定。

問 給食費無償化に向け、一部補助も含め417市町村で実施。当市においてもせめて就学援助を受けている主要保護世帯に対して、8割給付から10割給付に出来ないか。

答 今後検討していきたい。

問 湯涌温泉利用についてメソバ1料金が63割値上げ。営業時間も短縮。5〜8月だけでも30分延長できないか。

答 費用対効果考へると営業時間延長は難しい。

道路維持管理について



荻原洋平議員

問 市道3-120号線道路欠損部分の安全対策。

答 可能な限りスピード感をもって修繕を実施、時間が必要な場合はバリケード等による安全施設等の設置で対応。

問 道路パトロール体制と併せ、安全安心で運転できる環境を。危険と損傷の場所から早めに修繕工事を。

答 修繕箇所はパトロールと市民からの報告で早期発見迅速な修繕工事を心掛けていく。安全な道路環境維持のため、計画的な道路メンテナンスや、緊急的な対応として小破修繕工事を進めている。

問 国道403号線改良工事に、ラウンドアバウト、4差路信号交差点の2案が示されたが、木島地区の将来はこの案が理想か。

答 2案については一長一短あるが、地元の意向を充分踏まえ決定して行くべきと考へる。

問 変則5差路の整備、融雪対策、大樋用水路の維持管理を県への要望に加えることは。

答 特に交通に支障のある箇所からの着手について県に要望していく。